



11月号 令和元年 10月31日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町 6 9 4 番地 [Tel 911-0149]

アドレス [<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/>]



走れ荏田っ子 わたしはチャレンジャー

～成就感・自己肯定感・自己有用感～

校長 伊藤 智樹

運動会に合わせたような天候のもと、10月20日に第46回運動会が盛大に開催されました。当日は多くの来賓の皆様や地域の皆様、そして、保護者の皆様をお迎えして荏田小の子どもたちの精一杯の輝く姿を見ていただきました。ご声援やお力添え、誠にありがとうございました。



今年度の運動会スローガンは、『走れ荏田っ子 わたしはチャレンジャー』でした。何事にも一生懸命にチャレンジして自分たちの運動会を創っていく、そんな気持ちがこのスローガンに表れています。競技・演技で「一生懸命」の子どもたちの姿に子どもたちの成長が感じられました。



今年は体育館床改修工事が当初の予定より1か月の延長、雨が続いたことで各学年とも練習時間が少ない中での開催でしたが、そのような条件下でも子どもたちは時間を大切に一生懸命練習に取り組んでいました。これは子どもたち一人ひとりが日々の練習に対して目標や目的をもち意欲的に取り組んだ成果とも言えます。教育活動において子どもたちに感じて欲しいことは『成就感』『自己肯定感』『自己有用感』です。

「やってよかった。」「できないことができるようになって嬉しかった。」「分かって楽しかった。」
「〇〇活動してほめられた。」「自分のしたことはみんなのためになっている。」

物理的な練習時間ではなく、子どもたち一人ひとりが目標や目的、成就感、自己肯定感、自己有用感をもつことが大切であるかを実感しました。これは運動会練習だけのことでなく、学校生活の大半を占める日々の学習活動にも同じことが言えます。



10月号でも掲載しました今年度4月実施(6年生対象)の全国学力・学習状況調査の児童への質問紙において、学ぶ意欲に関する質問の「教科の勉強が好きです」という設問においては、全国平均を上回りました。教科ごとの数値は、国語(↑1.3%)算数(↑2%)でした。

また、成就感・自己肯定感・自己有用感に関する質問では「自分にはよいところがあると思う」(↑5.6%)「人に役に立つ人間になりたいと思う」(↑4.9%)「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」(↑0.1%)でした。人が苦しみや困難に負けないで生きていくための『学ぶ意欲』や『自己肯定感』、『自己有用感』が子どもたちの中で育まれていることが数値から読みとることができます。

横浜市学力・学習状況調査の結果についても10月号でお知らせしております。これら2つの学力・状況調査のデータをもとに更なる『学ぶ意欲』『自己肯定感』『自己有用感』の向上に向けて私たち教職員は、教育活動を検証し指導内容や指導法を常に改善していく必要があります。その中でも授業は学校生活の大半を占めます。引き続き授業改善に努めていきたいと思っております。